

## 千葉県がんセンター

# 『鏡内侍ⅡG』導入で、 精度の高い検査が滞りなくできるようになり、 患者様の待ち時間も改善！

千葉県がんセンター様は、県民の多年の要望に沿って、年々増加するがんの征圧に向かって、がん対策の中心的役割を果たすために昭和47年11月に開設されました。令和2年10月には新センターが完成し、医療安全に配慮しながら、がん患者の皆様にも最善の医療技術を提供できるよう取り組まれています。同センターでは、内視鏡の洗浄消毒に自動ブラッシング機能付内視鏡洗浄消毒装置『鏡内侍ⅡG』を2台採用されています。

この度、鈴木拓人先生、横土看護師長、三平副看護師長をはじめスタッフの皆さまにお話を伺いました。



### 千葉県がんセンター

開 院 1972年11月

診療科目 呼吸器外科、呼吸器内科、泌尿器科、整形外科、乳腺外科、脳神経外科、歯科、食道・胃腸外科  
肝胆膵外科、消化器内科、内視鏡科、婦人科（他）

病 院 長 飯笹 俊彦

住 所 千葉県千葉市中央区仁戸名町666-2

## 鈴木拓人先生（医学博士）プロフィール

1999年 横浜市立大学卒業  
2000年 千葉大学第1内科入局  
2001年 千葉市立海浜病院 消化器内科  
2003年 軽井沢病院 内科  
2004年 千葉大学 消化器内科  
2010年 千葉労災病院 消化器内科  
2012年 千葉県がんセンター 内視鏡科医長  
2016年 千葉県がんセンター 内視鏡科部長

- 日本内科学会総合内科専門医、指導医
- 日本消化器内視鏡学会専門医、指導医、学術評議員、関東支部評議員
- 日本消化器病学会専門医、指導医、関東支部評議員
- 日本消化管学会認定医、専門医、指導医
- 日本ヘリコバクター学会認定医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

### 鈴木拓人先生に伺いました

#### 経営方針および内視鏡検査の取り組みについて教えてください

患者さんの安全を第一とし、その上でより質の高い検査・治療を心がけています。

内視鏡検査・治療は常に偶発症のリスクを伴いますので、それらが発生しないように注意を払うことが重要と考えています。我々はまず検査・治療前の患者様の状態を十分把握し、リスクの評価を行った上で、検査・治療中は厳重なモニタリングをしています。

また、最近では鎮静剤を使用するケースも多く、より厳密な管理が必要であり、医師、看護師、技師など多職種のメディカルスタッフで協力して対応しています。

#### 内視鏡検査に関して他の施設と違う点がありますか

がん専門病院であるため、ほとんどの方ががんの患者様であり、より精密な検査・治療が求められています。患者様のためにというのが大前提ではありますが、ご紹介頂いた病院からのご期待にもお応えすべく、的確な検査・治療を行うことを心がけています。

また、当院は早期消化管がんの内視鏡治療、特にESD\*1の件数が非常に多く、全国でも有数の数を誇っています。ESDは一般的に難易度の高い治療とされていますが、我々は高い治癒率、低い偶発症率を誇っており、非常に良好な治療成績をおさめています。

\*1 ESD：内視鏡的粘膜下層剥離術

#### 『鏡内侍ⅡG』導入に関して“最も適している”と判断

当センターでは、まず看護師たちが現場に即した洗



浄器を選定し検討に入ります。

がんセンターということもあり、検査の特性上、所有本数が限られている精密な内視鏡を使用するケースが多いので、どうしても、検査に待ち時間が生じていました。そのため、消毒効果が他の洗浄器と変わらず、かつ洗浄消毒時間が早い『鏡内侍ⅡG』に大変魅力を感じました。

また、電解水を使用した内視鏡の洗浄器は、医療機器として国が認可していること、センター内の薬剤部の検討を経ていること、何よりも現場にとって大きなメリットがあることを考慮した結果、選定に反対する理由はないと判断しました。

### 横土看護師長・三平副看護師長に伺いました



常に笑顔の横土看護師長



熱意溢れる三平副看護師長

#### 現場でお困りになっていたことがあったとお伺いしましたが

過酢酸、フタラール製剤の洗浄器を6台所有していましたが、いずれの洗浄器も洗浄消毒時間が28分と長

いため、頻繁に使用する内視鏡の洗浄消毒が間に合わず、検査開始時は内視鏡の洗浄消毒待ちになっていました。あわせて看護師および助手の人員不足にも頭を悩ませていて、その対応にも苦慮していました。

また、フタルール製剤は皮膚粘膜障害があるので、ばく露防止策が必要であることや、過酢酸も含め消毒剤から発生するガスを吸入することによる看護師の健康被害を回避するための換気設備の負担は避けられないと思いました。

### 『鏡内侍ⅡG』ならそのような問題が解決できるかも

令和2年10月オープンの病院新築に伴い、内視鏡室数が増えることから検査件数の増加が見込まれました。そのため、洗浄器の台数を増やす必要がありました。

『鏡内侍ⅡG』は日本消化器内視鏡学会の展示で見て、特に自動ブラッシング機能と洗浄消毒のスピードに興味を持ち検討機種に挙げました。最大の目的は、上部消化管内視鏡・下部消化管内視鏡などの直視鏡の洗浄消毒時間の短縮です。『鏡内侍ⅡG』なら洗浄消毒時間が早く、洗浄する人の技術に頼らず、安定した洗浄消毒効果が得られるため、内視鏡の洗浄時間待ちやスタッフ

の人員不足等が解決できるのではないかと思います。また、ランニングコストが安く、人体、環境への影響がないことも導入を後押ししました。



『鏡内侍ⅡG』への思いを熱く語ってくくださった三平副看護師長

### 電解水についてはご存知でしたか

電解水についてはよく知りませんでした。『鏡内侍ⅡG』が強アルカリ性電解水と強酸性電解水を利用していると聞いたため、電解水についての多くの資料を集め、洗浄消毒効果や安全性を確認しました。



特殊検査も対応されている臼井看護師



2台導入された『鏡内侍ⅡG』



専任の洗浄スタッフ

その後、『鏡内侍ⅡG』の試用をされたとお聞きしました

試用の目的は、『鏡内侍ⅡG』の操作性の確認と設置スペースのイメージ化です。予想通り自動ブラッシング機能は画期的な機能でした。

### 自動ブラッシングは「すごい」の一言ですね

今まで内視鏡管路内のブラッシングは用手で行っていましたが、内視鏡の種類によって管路の配置が異なるのに、自動で行えるのは「すごい」の一言ですね。また、洗浄スタッフの技量（人の手による差異がない）によらず、洗浄の質が担保できることも安心だと感じました。用手洗浄時にブラシを通す作業時間（約4分）が削減できることや、ブラッシング作業時の跳ね返り防止の感染対策にも魅力を感じました。

### 電解水の洗浄消毒効果は薬剤部も承認

まず電解水の資料を多数そろえ、現場スタッフ内で十分に検討を重ねました。次に、薬剤部に資料を提出して、洗浄消毒効果等を確認してもらいました。結果、特に問題はないという回答をいただきました。

### 内視鏡メーカーや高水準消毒薬メーカーにも確認

私たちは、少なくとも医療機器として国が認可している製品が、基本的にダメになる理由がないと思っていました。そこで内視鏡メーカーや高水準消毒薬メーカーにも「私たちは電解水の洗浄器を入れたいと思っている。ダメな理由を探して提案して欲しい」と話しましたが、「正直ダメな理由はありません」との回答でした。

総合的にいろいろな角度から『鏡内侍ⅡG』の導入検討をした結果、NO（ダメ）の要素が全くありませんでした。その上で、内視鏡科部長に説明を行いました。特に反対されこともなくご納得していただきました。

## 『鏡内侍ⅡG』導入後、問題点は改善されましたか

午前中だけで胃内視鏡検査が30件前後あり、しかも検査目的に応じて使用する内視鏡が指定されます。そのため、これまでは洗浄消毒が追い付かず、患者様に1時間程度待ってもらうことも度々ありました。

しかし、『鏡内侍ⅡG』が導入された後は、同じ内視鏡の連続使用にも対応できるようになり、検査待ちは大幅に改善されました。結果、患者様サービスの向上につながり、高精度の検査も滞りなくできるようになりました。また、内視鏡の洗浄終了時刻を気にする回数が減少しました（笑）。

## ランニングコストはどうか

高水準消毒薬と比べると確実にランニングコストが削減できると試算しました。

## ATP検査と培養検査を実施しているそうですか

ATP検査は洗浄評価方法（プロトコル）を作成し、それに則り、洗浄消毒後の内視鏡の洗浄度合いについて大きな逸脱がないか（洗い残しがないか）調査して



検査を担当される小西看護師

います。培養検査は『鏡内侍ⅡG』導入前から使用していた洗浄評価方法（プロトコル）で検査を行いました。今回対象とした機種

のATP検査、および培養検査が終わったら、学会等で報告する予定です。

## 洗浄担当スタッフさんにお聞きしました

検査数が午前中で30件を超える日もありますが、洗浄消毒の回転が速くなって、内視鏡の連続使用にも対応できるようになりました。以前は看護師さんが洗浄器の前で洗い終わるのを待って自ら内視鏡を取り出し、検査室に持っていくということもありました…（笑）。内視鏡の設置方法もラックにかけて設置することに新鮮さ、斬新さを感じました。実際に行うと煩雑にグルグル巻く必要性がないので、大変楽ですね。

皆さまお忙しい中ありがとうございました



鈴木拓人先生（前列中央）、横土看護師長（中列左端）はじめスタッフの方々

### 本製品に関するお問い合わせ先

ハイジニック器機ディビジョン03-5276-1920（または当社webサイトの「お問合せ」をご利用ください）。デモをご希望の場合は最寄りの当社営業所までお問合せください。



製品HP